一戸建て用	現地調査用

現況検査チェックシート
（木造（鉄骨造も含む）・戸建住宅）

（基本情報）

検査対象住宅	（住宅所有者）　様邸
	（所在地）
検査依頼主	（会社名・担当者）
現況検査立会者	（会社名・担当者）

構造	□木造　□S造	階数	地上　階、地下　階
建築時期	□S、□H　年	延床面積	.　㎡

検査事業者　名称	
資格	一級　建築士　（　）登録　第　号
氏名	印
建築士事務所	一級　建築士事務所　（　）知事登録　第　号
建築士事務所名	
住所	
現況検査日時	平成　年　月　日（天候　）
	：　～　：
検査の結果	劣化事象（　□　有り、　□　無し　）

一戸建て用	現地調査用

（目次）

A外部 B内部	頁	部位		目視	計測等
A外部	1	①	基礎（構造）	○	○
	2	②-1	外壁・軒裏（構造）	○	○
	2	②-2	外壁・軒裏（雨水）	○	
	3	③	屋根（雨水）	○	
	3	④	バルコニー（構造・雨水）	○	○
B内部	4	⑤	天井・小屋組・梁（構造）／天井・小屋組（雨水）	○	○
	5	⑥	内壁・柱（構造・雨水）	○	○
	6	⑦	床（構造）	○	○
	6	⑧	土台・床組（構造）	○	○
	7	⑨	基礎（構造）	○	○
	8	⑩	設備配管【給水・給湯管】	○	
	8	⑩	設備配管【排水管】	○	
	8	⑩	設備配管【換気ダクト】	○	
C	9		オプション	○	○
	9		オプション検査　非破壊検査機器による検査	○	○

※確認の程度の区分の凡例

① 「すべてまたはほとんどが確認できた」　・・・ 概ね９割以上
② 「過半の部分が確認できた」　・・・ ５割を超え、９割未満
③ 「過半の部分が確認できなかった」　・・・ １割以上５割未満
④ 「ほとんど確認できなかった」　・・・ １割未満
⑤ 「まったく確認できなかった」　・・・ ０割
⑥ 「点検口等から目視可能な範囲で確認できた」、又は「足場等を組んで確認した」

検査の結果	①基礎	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		①基礎			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	A外部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認		□ア　コンクリート直仕上げ □イ　モルタル仕上げその他の塗り仕上げ □ウ　その他の仕上げ
			（1）　【構造】幅0.5㎜以上のひび割れ		□ア　ひび割れが確認されない □イ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所　□東面　□西面　□南面　□北面 b.　最大のひび割れ幅　（　　）㎜
			（2）　【構造】深さ20㎜以上の欠損		□ア　欠損が確認されない □イ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所　□東面　□西面　□南面　□北面 b.　最大欠損の深さ　（　　）㎜
			（3）　【構造】コンクリートの著しい劣化		□ア　著しい劣化が確認されない □イ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所　□東面　□西面　□南面　□北面 b.　広範囲に及ぶひび割れの有無　□ア　ない　□イ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無　□ア　ない　□イ　ある
			（4）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損		□ア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所　□東面　□西面　□南面　□北面
			（5）　【構造】鉄筋の露出		□ア　鉄筋の露出が確認されない □イ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所　□東面　□西面　□南面　□北面
		腐朽・腐食、蟻害	（1）　【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		□ア　ない □イ　ある（下の（）内を記入）
			有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）
備考					

検査の結果	②外壁・軒裏（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	②外壁・軒裏（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		②外壁・軒裏（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	A外部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認		□ア　コンクリート直仕上げ □イ　モルタル仕上げその他の塗り仕上げ □ウ　サイディングボードその他の板状の仕上げ材 □エ　タイルによる仕上げ □オ　その他仕上げ
			（1）　【構造】下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落（乾式仕上、タイル仕上（湿式工法）の場合）		□ア　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない □イ　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入）
				a.　ひび割れ等が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面	
				b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜	
			（2）　【構造】複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損		□ア　複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない □イ　複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入）
				a.　ひび割れ等が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面	
				b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜	
			（3）　【構造】金属の著しい錆び又は化学的侵食（乾式仕上げの場合）		□ア　金属の著しい錆び又は化学的侵食が確認されない □イ　金属の著しい錆び又は化学的侵食が確認される（下表に記入）
				a.　著しい劣化が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面	
			（4）　【構造】仕上げ材の著しい浮き　(乾式仕上げ以外の場合)		□ア　仕上げ材の著しい浮きが確認されない □イ　仕上げ材の著しい浮きが確認される（下表に記入）
				a.　著しい浮きが確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面	

②外壁・軒裏（雨水）

確認欄※	検査項目		確認内容
（構造）に記載	（1）　【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損		□ア　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない □イ　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される（下表に記入）
			a.　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
	（2）　【雨水】軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損		□ア　軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認されない □イ　軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認される（下表に記入）
			a.　軒裏天井等のシーリング材の破断又は欠損が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
	（3）　【雨水】軒裏天井の雨漏りの跡		□ア　軒裏天井の雨漏りの跡が確認されない □イ　軒裏天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入）
			a.　軒裏天井の雨漏りの跡が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
	（4）　【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良		□ア　建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない □イ　建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される（下表に記入）
			a.　屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りの開閉不良が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
	（5）　【雨水】建具廻りのシーリング材の破断		□ア　建具廻りのシーリング材の破断が確認されない □イ　建具廻りのシーリング材の破断が確認される（下表に記入）
			a.　シーリング材の破断が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
腐朽・腐食、蟻害	（1）　【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		□ア　ない □イ　ある（下の（）内を記入）
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

検査の結果	③屋根	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	④バルコニー	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		③屋根（雨水）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	A外部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）	【雨水】屋根葺き材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれ	□ア 屋根葺き材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれが確認されない □イ 屋根葺き材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮き又ははがれが確認される a. 屋根葺き材の著しい破損、ずれ、ひび割れ、劣化、欠損、浮きが確認された場所 □東面 □西面 □南面 □北面
			（2）	【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合(陸屋根等の場合)	□ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない □イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 □東面 □西面 □南面 □北面
		腐朽・腐食、蟻害	（1）	【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	□ア ない □イ ある（下の（）内を記入）
			有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

④バルコニー（構造・雨水）			
確認欄※	検査項目		確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）	【構造】支持部材（バルコニーを構成している柱・梁・根太等）、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化（ルーフバルコニー等の場合）	□ア 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認されない □イ 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認される（下表に記入） a. 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 □東面 □西面 □南面 □北面 b. 最大のひび割れ幅 （　　）㎜
	（2）	【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合	□ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合又ははがれが確認されない □イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 □東面 □西面 □南面 □北面
腐朽・腐食、蟻害	（1）	【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	□ア ない □イ ある（下の（）内を記入）
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

備考	

検査の結果	⑤天井・小屋組・梁（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	⑤天井・小屋組（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		⑤天井・小屋組・梁（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】天井における下地材まで達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	ロア　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ロイ　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入） a.　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所 （　　）
			（2）　【構造】小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損	ロア　小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ロイ　小屋組の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a.　著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 （　　） b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜
			（3）　【構造】梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損	ロア　梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ロイ　梁の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a.　著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 （　　） b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜
			（4）　【構造】梁の著しいたわみ	ロア　梁の著しいたわみが確認されない ロイ　梁の著しいたわみが確認される（下表に記入） a.　著しいたわみが確認された場所 （　　） b.　たわみの計測値 （　　）

⑤天井・小屋組（雨水）			
確認欄※	検査項目		確認内容
（構造）に記載	（1）　【雨水】天井の雨漏りの跡		ロア　天井の雨漏りの跡が確認されない ロイ　天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a.　天井の雨漏りの跡が確認された場所 （　　）
	（2）　【雨水】小屋組の雨漏りの跡		ロア　小屋組の雨漏りの跡が確認されない ロイ　小屋組の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a.　小屋組の雨漏りの跡が確認された場所 （　　）
腐朽・腐食、蟻害	（1）　【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		ロア　ない ロイ　ある（下の（）内を記入）
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

備考	

検査の結果	⑥内壁・柱（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	⑥内壁（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		⑥内壁・柱（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】下地材まで到達するひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落	ロア　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ロイ　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認される（下表に記入） a.　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認された場所 （　　）
			（2）　【構造】柱・壁における6/1,000以上の傾斜（凹凸の少ない仕上げによる壁の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線（2m程度以上の長さのものに限る。）の鉛直線に対する角度をいう。）	ロア　柱・壁の著しい傾斜が確認されない ロイ　柱・壁の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a.　柱・壁の最も傾きがある場所 （　　） b.　当該部分の傾斜 （　　／　1,000　）
			（3）　【構造】柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損	ロア　柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ロイ　柱の著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a.　著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 （　　） b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜
		⑥内壁（雨水）		
		確認欄※	検査項目	確認内容
		（構造）に記載	（1）　【雨水】内壁の雨漏りの跡	ロア　内壁の雨漏りの跡が確認されない ロイ　内壁の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a.　内壁の雨漏りの跡が確認された場所 （　　）
		腐朽・腐食、蟻害	（1）　【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。	ロア　ない ロイ　ある（下の（）内を記入）
			有りの場合　腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）
備考				

検査の結果	⑦床（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	⑧土台・床組（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		⑦床（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損		ロア 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ロイ 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 （　　） b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜
			（2）【構造】著しい沈み		ロア 著しい沈みが確認されない ロイ 著しい沈みが確認される（下表に記入） a. 著しい沈みがある場所 （　　）
			（3）【構造】6/1,000以上の傾斜（凹凸の少ない仕上げによる壁の表面と、その面と垂直な鉛直面との交差する線（2m程度以上の長さのものに限る。）の鉛直線に対する角度をいう。）		ロア 著しい傾斜が確認されない ロイ 著しい傾斜が確認される（下表に記入） a. 最も傾きがある場所 （　　） b. 当該部分の傾斜 （　　／ 1,000 ）
		腐朽・腐食、蟻害	（1）【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		ロア ない ロイ ある（下の（）内を記入）
			有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

⑧土台・床組（構造）			
確認欄※	検査項目		確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損		ロア 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認されない ロイ 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認される（下表に記入） a. 著しいひび割れ、劣化又は欠損が確認された場所 （　　） b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ （　　）㎜
腐朽・腐食、蟻害	（1）【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		ロア ない ロイ ある（下の（）内を記入）
	有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）

備考	

検査の結果	⑨基礎・内部（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		⑨基礎・内部（構造）			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目		確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認		①基礎に記載
			（1）　【構造】幅0.5㎜以上のひび割れ		□ア　ひび割れが確認されない □イ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面 b.　最大のひび割れ幅 （　　）㎜
			（2）　【構造】深さ20㎜以上の欠損		□ア　欠損が確認されない □イ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面 b.　最大欠損の深さ （　　）㎜
			（3）　【構造】コンクリートの著しい劣化		□ア　著しい劣化が確認されない □イ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面 b.　広範囲に及ぶひび割れの有無 □ア　ない　□イ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無 □ア　ない　□イ　ある
			（4）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損		□ア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
			（5）　【構造】鉄筋の露出		□ア　鉄筋の露出が確認されない □イ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所 □東面　□西面　□南面　□北面
		腐朽・腐食、蟻害	（1）　【構造】著しい腐朽・腐食等・蟻害が確認されないこと。		□ア　ない □イ　ある（下の（）内を記入）
			有りの場合	腐朽・腐食等・蟻害が確認された場所	（　　）
備考					

検査の結果	⑩設備配管	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		⑩設備配管【給水・給湯管】		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水	ロア 発錆による赤水が確認されない ロイ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a． 発錆による赤水が確認された場所 （ ）
			（2） 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	ロア 漏水が確認されない ロイ 漏水が確認される（下表に記入） a． 漏水が確認された場所 （ ）

⑩設備配管【排水管】		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】排水の滞留	ロア 排水の滞留が確認されない ロイ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a． 排水の滞留が確認された場所 （ ）
	（2） 【設備配管】排水管の漏水	ロア 排水管の漏水が確認されない ロイ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a． 漏水が確認された場所 （ ）

⑩設備配管【換気ダクト】		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】換気ダクトの脱落	ロア 換気ダクトの脱落が確認されない ロイ 換気ダクトの脱落が確認される（下表に記入） a． 換気ダクトの脱落が確認された場所 （ ）

オプション

	A外部 B内部	検査の有無	検査項目	確認内容
劣化状況	C　オプション	□ 検査あり	（1）　門、塀等の工作物、車庫、擁壁等の目視可能な範囲の検査 （検査内容） （　　）	ロア　異常が確認されない ロイ　異常が確認される（下表に記入） a.　異常が確認された場所 （　　） b.　異常の状況 （　　）
		□ 検査あり	（2）　樋の詰まり等、清掃で解決するものの検査 （検査内容） （　　）	ロア　異常が確認されない ロイ　異常が確認される（下表に記入） a.　異常が確認された場所 （　　） b.　異常の状況 （　　）
		□ 検査あり	（3）　給排水設備、電気設備、ガス設備、浄化槽の著しい劣化 （検査内容） （　　）	ロア　作動不良が確認されない ロイ　作動不良が確認される（下表に記入） a.　作動不良が確認された場所 （　　） b.　作動不良の状況 （　　）
		□ 検査あり ※ 鉄筋の本数、配置検査は、非破壊検査に記入	（4）　非破壊検査機器を用いた検査 （検査内容） （　　）	ロア　異常が確認されない ロイ　異常が確認される（下表に記入） a.　異常が確認された場所 （　　） b.　異常の状況 （　　）
		□ 検査あり	（1）　キッチンコンロ、換気扇やパッケージエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 （検査内容） （　　）	ロア　作動不良が確認されない ロイ　作動不良が確認される（下表に記入） a.　作動不良が確認された場所 （　　） b.　作動不良の状況 （　　）
		□ 検査あり	（2）　給排水設備、電気設備、ガス設備 （検査内容） （　　）	ロア　作動不良が確認されない ロイ　作動不良が確認される（下表に記入） a.　作動不良が確認された場所 （　　） b.　作動不良の状況 （　　）
		□ 検査あり	（3）　住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 （検査内容） （　　）	ロア　汚損が確認されない ロイ　汚損が確認される（下表に記入） a.　汚損が確認された場所 （　　） b.　汚損の状態 （　　）
		□ 検査あり ※ 鉄筋の本数、配置検査は、下表に記入	（4）　非破壊検査機器を用いた検査 （検査内容） （　　）	ロア　異常が確認されない ロイ　異常が確認される（下表に記入） a.　異常が確認された場所 （　　） b.　異常の状況 （　　）
		□ 検査あり 非破壊検査機器による検査【鉄筋の本数及び間隔】	（1）　基礎における鉄筋の本数及び間隔 （検査位置） （　　）	ロア　立ち上がり補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a.　補強筋間隔 （@　　㎜　） ロイ　補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上（下表に記入） b.　補強筋間隔が適切ではない場所 （　　） ロア　底版補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a.　補強筋間隔 （@　　㎜　） ロイ　補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上（下表に記入） b.　補強筋間隔が適切ではない場所 （　　）

共同住宅用	現地調査用

現況検査チェックシート
（鉄筋コンクリート造・共同住宅・1住戸）

（基本情報）

検査対象住宅	（住宅所有者）　様邸
	（所在地）
検査依頼主	（会社名・担当者）
現況検査立会者	（会社名・担当者）

構造	■RC造	階数	地上　　階、地下　　階
建築時期	□S、□H　　年	延床面積	．　㎡

検査事業者　名称	
資格	一級　建築士　（　　）登録　第　　号
氏名	印
建築士事務所	一級　建築士事務所　（　　）知事登録　第　　号
建築士事務所名	
住所	
現況検査日時	平成　　年　　月　　日（天候　　）
	：　～　：
検査の結果	劣化事象（　□　有り、　□　無し　）

共同住宅用	現地調査用

（目次）

A外部 B内部	頁	部位		目視	計測等
A外部	1	①	バルコニー（構造）	○	○
	2	②-1	外壁・コンクリート造（構造）	○	○
	3	②-2	外壁・タイル仕上げ等（構造）	○	○
	2	②-3	外壁・軒裏（雨水）	○	
	3	③	柱・梁（構造）	○	○
B内部	3	④	柱・梁（構造）	○	○
	4	⑤	内壁（構造・雨水）	○	○
	4	⑥	天井（雨水）	○	○
	5	⑦	設備配管【給水・給湯管】	○	
	5	⑦	設備配管【排水管】	○	
	5	⑦	設備配管【換気ダクト】	○	
Cオプション	6		オプション	○	○
	7		オプション検査　基礎	○	○
	7		オプション検査　屋根・ルーフバルコニー	○	○
	8		オプション検査　床	○	○
	8		オプション検査　天井	○	○

※確認の程度の区分の凡例

① 「すべてまたはほとんどが確認できた」　・・・ 概ね９割以上

② 「過半の部分が確認できた」　・・・ ５割を超え、９割未満

③ 「過半の部分が確認できなかった」　・・・ １割以上５割未満

④ 「ほとんど確認できなかった」　・・・ １割未満

⑤ 「まったく確認できなかった」　・・・ ０割

⑥ 「点検口等から目視可能な範囲で確認できた」

検査の結果	①バルコニー（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		①バルコニー（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	A外部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化 （さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	ロア　支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認されない ロイ　支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認される a.　支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 （　　）
備考				

検査の結果	②外壁（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	②外壁（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		②外壁（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	A外部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認	□ア　コンクリート打放し又は塗装仕上げ（②-1に記載） □イ　タイル仕上げ（湿式工法）又は塗壁仕上げ等（②-2に記載）
			コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	
			（1）　【構造】幅0.5㎜以上のひび割れ	□ア　ひび割れが確認されない □イ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅　（　　）㎜
			（2）　【構造】深さ20㎜以上の欠損	□ア　欠損が確認されない □イ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所（　　） b.　最大欠損の深さ　（　　）㎜
			（3）　【構造】コンクリートの著しい劣化	□ア　著しい劣化が確認されない □イ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所（　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無　□ア　ない　□イ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無　□ア　ない　□イ　ある
			（4）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	□ア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所（　　）
			（5）　【構造】鉄筋の露出	□ア　鉄筋の露出が確認されない □イ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所（　　）
			タイル仕上げ（湿式工法）又は塗壁仕上げ等の場合	
			（1）　【構造】下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落（乾式仕上、タイル仕上（湿式工法）の場合）	□ア　下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない □イ　上記の劣化事象等が確認される（下表に記入） a.　ひび割れ等が確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ　（　　）㎜
			（2）　【構造】複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損	□ア　複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない □イ　上記の劣化事象等が確認される（下表に記入） a.　ひび割れ等が確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ　（　　）㎜
			タイル仕上げ（湿式工法）の場合	
			（4）　【構造】仕上げ材の著しい浮き　（乾式仕上げ以外の場合）	□ア　仕上げ材の著しい浮きが確認されない □イ　仕上げ材の著しい浮きが確認される（下表に記入） a.　著しい浮きが確認された場所（　　）

②外壁（雨水）

確認欄※	検査項目	確認内容
（構造）に記載	仕上げの種類の確認	②外壁・軒裏（構造）に記載
	（1）　【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損	□ア　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない □イ　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される（下表に記入） a.　シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所（　　）
	（2）　【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りのシーリング材の破断、開閉不良	□ア　建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない □イ　建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される（下表に記入） a.　建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認された場所（　　）
	（3）　【雨水】建具廻りのシーリング材の破断	□ア　建具廻りのシーリング材の破断が確認されない □イ　建具廻りのシーリング材の破断が確認される（下表に記入） a.　建具廻りのシーリング材の破断が確認された場所（　　）

検査の結果	③柱・梁（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		③柱・梁（構造）／④柱・梁（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	A外部／B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	ロア　ひび割れが確認されない ロイ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅（　　）㎜ ロア　欠損が確認されない ロイ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所（　　） b.　最大欠損の深さ（　　）㎜ ロア　著しい劣化が確認されない ロイ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所（　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無　ロア　ない　ロイ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無　ロア　ない　ロイ　ある ロア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ロイ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所（　　） ロア　鉄筋の露出が確認されない ロイ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所（　　）
			（2）　【構造】柱の著しい傾斜	ロア　柱の著しい傾斜が確認されない ロイ　柱の著しい傾斜が確認される（下表に記入） a.　最も傾きがある場所（　　） b.　当該部分の傾斜（　　／　1,000　）
備考				

検査の結果	⑤内壁（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	⑤内壁（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	⑥天井（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		⑤内壁（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認	□ア　コンクリート打放し又は塗装仕上げ □イ　その他仕上げ等
			コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	
			（1）　【構造】幅0.5㎜以上のひび割れ	□ア　ひび割れが確認されない □イ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅（　　）㎜
			（2）　【構造】深さ20㎜以上の欠損	□ア　欠損が確認されない □イ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所（　　） b.　最大欠損の深さ（　　）㎜
			（3）　【構造】コンクリートの著しい劣化	□ア　著しい劣化が確認されない □イ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所（　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無 □ア　ない　□イ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無 □ア　ない　□イ　ある
			（4）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	□ア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない □イ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所（　　）
			（5）　【構造】鉄筋の露出	□ア　鉄筋の露出が確認されない □イ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所（　　）

⑤内壁（雨水）		
確認欄※	検査項目	確認内容
（構造）に記載	（1）　【雨水】内壁の雨漏りの跡	□ア　内壁の雨漏りの跡が確認されない □イ　内壁の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a.　内壁の雨漏りの跡が確認された場所（　　）

⑥天井（雨水）		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【雨水】天井の雨漏りの跡	□ア　天井の雨漏りの跡が確認されない □イ　天井の雨漏りの跡が確認される（下表に記入） a.　天井の雨漏りの跡が確認された場所（　　）

検査の結果	⑦設備配管	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）		

部位等		⑦設備配管【給水・給湯管】		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	B内部	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤ｻﾋﾞ	□ア 発錆による赤水が確認されない □イ 発錆による赤水が確認される（下表に記入） a． 発錆による赤水が確認された場所 （ ）
			（2） 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	□ア 漏水が確認されない □イ 漏水が確認される（下表に記入） a． 漏水が確認された場所 （ ）

⑦設備配管【排水管】		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】排水の滞留	□ア 排水の滞留が確認されない □イ 排水の滞留が確認される（下表に記入） a． 排水の滞留が確認された場所 （ ）
	（2） 【設備配管】排水管の漏水	□ア 排水管の漏水が確認されない □イ 排水管の漏水が確認される（下表に記入） a． 漏水が確認された場所 （ ）

⑦設備配管【換気ダクト】		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （ ） 理由 （ ）	（1） 【設備配管】換気ダクトの脱落	□ア 換気ダクトの脱落が確認されない □イ 換気ダクトの脱落が確認される（下表に記入） a． 換気ダクトの脱落が確認された場所 （ ）

オプション

	A外部 B内部	検査の有無	検査項目	確認内容
劣化状況	Cオプション	□ 検査あり	（1） 清掃で解決するものの検査 （検査内容） （　　）	ロア 異常が確認されない ロイ 異常が確認される（下表に記入） a． 異常が確認された場所 （　　） b． 異常の状況 （　　）
		□ 検査あり	（1） 申込み住宅のキッチンコンロ、換気扇やパッケージエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 （検査内容） （　　）	ロア 作動不良が確認されない ロイ 作動不良が確認される（下表に記入） a． 作動不良が確認された場所 （　　） b． 作動不良の状況 （　　）
		□ 検査あり	（2） 申込み住宅の給排水設備、電気設備、ガス設備 （検査内容） （　　）	ロア 作動不良が確認されない ロイ 作動不良が確認される（下表に記入） a． 作動不良が確認された場所 （　　） b． 作動不良の状況 （　　）
		□ 検査あり	（3） 申込み住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 （検査内容） （　　）	ロア 汚損が確認されない ロイ 汚損が確認される（下表に記入） a． 汚損が確認された場所 （　　） b． 汚損の状態 （　　）
		□ 検査あり ※ コンクリートの圧縮強度検査は下表に記入	（3） 非破壊検査機器を用いた検査 （検査内容） （　　）	ロア 異常が確認されない ロイ 異常が確認される（下表に記入） a． 異常が確認された場所 （　　） b． 異常の状況 （　　）
		□ 検査あり コンクリートの圧縮強度	（1） 【構造】コンクリートの圧縮強度	ロア コンクリートの圧縮強度が確認できない ロイ コンクリートの圧縮強度が確認できる（下表に記入） a． コンクリートの圧縮強度を確認した場所 （　　） ロア 反発度 a． 測定値 （　　）
備考				

検査の結果	オプション検査　基礎	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	オプション検査　屋根 ルーフバルコニー（雨水）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		オプション検査　基礎		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	Cオプション	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】幅0.5㎜以上のひび割れ	ロア　ひび割れが確認されない ロイ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所 （　　） b.　最大のひび割れ幅 （　　）㎜
			（2）　【構造】深さ20㎜以上の欠損	ロア　欠損が確認されない ロイ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所 （　　） b.　最大欠損の深さ （　　）㎜
			（3）　【構造】コンクリートの著しい劣化	ロア　著しい劣化が確認されない ロイ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所 （　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無 ロア　ない　　ロイ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無 ロア　ない　　ロイ　ある
			（4）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	ロア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ロイ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 （　　）
			（5）　【構造】鉄筋の露出	ロア　鉄筋の露出が確認されない ロイ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所 （　　）
		オプション検査　屋根・ルーフバルコニー（雨水）		
		確認欄※	検査項目	確認内容
		□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合	ロア　防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ロイ　防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される（下表に記入） a.　防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 （　　）
備考				

検査の結果	オプション検査　床（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）	オプション検査　天井（構造）	劣化事象（ □ 有り、 □ 無し ）

部位等		オプション検査　床（構造）		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
	Cオプション	□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	（1）　【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損（さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。）	ロア　ひび割れが確認されない ロイ　ひび割れが確認される（下表に記入） a.　ひび割れが確認された場所（　　） b.　最大のひび割れ幅（　　）㎜ ロア　欠損が確認されない ロイ　欠損が確認される（下表に記入） a.　欠損が確認された場所（　　） b.　最大欠損の深さ（　　）㎜ ロア　著しい劣化が確認されない ロイ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所（　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無　ロア　ない　ロイ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無　ロア　ない　ロイ　ある ロア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ロイ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所（　　） ロア　鉄筋の露出が確認されない ロイ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所（　　）
			（2）　【構造】6/1,000以上の勾配の傾斜（凹凸の少ない仕上げによる床の表面における2点（3m程度離れているものに限る。）の間を結ぶ直線の水平面に対する角度をいう。）	ロア　著しい傾斜が確認されない ロイ　著しい傾斜が確認される（下表に記入） a.　最も傾きがある場所（　　） b.　当該部分の傾斜（　　／　1,000　）

オプション検査　天井（構造）		
確認欄※	検査項目	確認内容
□ ① □ ② □ ③ □ ④ □ ⑤ □ ⑥ 現況検査できなかった箇所 （　　） 理由 （　　）	仕上げの種類の確認	ロア　コンクリート打放し又は塗装仕上げ ロイ　その他仕上げ等
	コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合	
	（1）　【構造】コンクリートの著しい劣化	ロア　著しい劣化が確認されない ロイ　著しい劣化が確認される（下表に記入） a.　著しい劣化が確認された場所（　　） b.　広範囲に及ぶひび割れの有無　ロア　ない　ロイ　ある C.　広範囲に及ぶ欠損の有無　ロア　ない　ロイ　ある
	（2）　【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損（エフロレッセンスを含む）	ロア　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ロイ　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される（下表に記入） a.　さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所（　　）
	（3）　【構造】鉄筋の露出	ロア　鉄筋の露出が確認されない ロイ　鉄筋の露出が確認される（下表に記入） a.　鉄筋の露出が確認された場所（　　）